

ながののNPOと市民をつなぐ機関誌

新人

代表理事 山岸 裕始さん





寄付から始まる 新たな可能性を探そう

特集

11月26日、市民協働サ
ポートセンターと、NPO
や行政、企業などで構成さ
れたネットワーク組織「な
がの協働なつと」は、寄付
をテーマにした交流会「寄
付から始まる新たな可能性
を探そう」を開催しました。
これまで寄付を集めた経験
のあるNPOと、寄付をし
た企業やお寺、学生など26
人が参加して意見交換をし
ました。



「寄付」をしたことはありますか？
2021寄付白書によると、日本にお
ける個人の寄付総額は、過去10年で約2
倍の1兆2126億円まで増えています。
その一因として、東日本大震災を契
機に寄付への関心が高まったことやコ
ロナ禍の支援などが考えられます。近年目
立つのは、クラウドファンディングとい
うインターネットを介して不特定多数の
人から資金を調達する方法。この寄付総
額は、2014年から5年で約10倍の
2000億円を超えており、寄付者に
とつても寄付を集める側にとつても身近
なものになりつつあります。
寄付はNPOにとって自由な財源であ
り、活動を支える応援者の存在を感じら
れるものです。市民にとつては社会貢献
に参加するきっかけです。しかし、内閣
府令和2年度非営利活動法人に関する実
態調査では、日本のNPO法人の67%が
寄付への取り組みをしていない現状があ
ります。

寄付者への感謝を大切に

NPO法人えんまる 岩間淳さん

■SOSを出せず孤立する 家庭への支援

コロナ禍で困窮家庭が増
える中、助けてと声をあげ
られず孤立する家庭があり
ます。その
ため、希望
する児童扶
養手当受給
家庭へ食料



岩間さん
養子当受給
家庭へ食料

■寄付者への感謝

支援家庭にプレゼントす
る気持ちで包装して渡して
います。どのように渡し、

相手がどんなに喜んでくれ
たかという報告と感謝の気
持ちは寄付者に丁寧に伝え
ています。

■新たな寄付の形の提案

アマゾンが提供する「み
んなで応援プログラム」は、
事前に作成した欲しいもの
リストを活用し、全国から
支援を集められるシステム
です。先日初めて埼玉県在
住者から支援物資が届きま
した。

■地域の歴史あるみそ蔵 復活を目指す

復活を目指す

2019年東日本台風
で、長沼地区にある創業
135年の小川醸造場のみ
そ蔵が全壊。「地域で愛さ
れてきたみ
そ蔵を復活
させること
で、同地域
に希望の光



河野さん
で、同地域
に希望の光

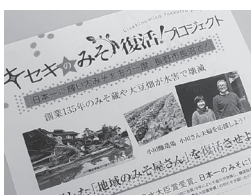
■ストーリーへの共感

団体のホームページの中
で、「災害を忘れない」「長

野の財産を守る」というス
トーリーをより多くの人に
伝え共有することで、共感
の輪が広がられたことも一
因だと思っています。

■目的を考える

「なぜクラウドファン
ディングを使うのか」とい
う目的が大事。その目的を
より多くの人に知ってもら
うための手段であり、単な
るお金集
めとして
考える
と、つま
くいか
ないと思
います。



共感の輪が クラウドファンディングの成功へ

キセキのみそ復活プロジェクト

代表 河野ます美さん

「地域に貢献したい」お寺の思い



袖山さん



樋口さん

十念寺 袖山榮輝さん
蓮香寺 樋口良宏さん
西光寺 竹澤泰宏さん

■地域の未来をつくる 若者への支援

ながの協働ねっと主催の
高校・大学生の地域活動体
験プログラム「地域まるごと
とキャンパス」に協賛して
います。地
域の未来を
つくる若者
を育てたい、応援し



竹澤さん

つくる若者
を育てたい、応援し

■決断までが早い

お寺同士横のつながりは

強く行事を一緒にやること
もありますが、資金的には
いつも厳しく、主催側のつ
らさはわかります。組織だ
と寄付するにも決裁まで大
変ですが、お寺の多くは住
職一人で実務をこなしてい
ます。その点決断の早さは
利点です。

■お寺と地域のこれから

「地域に貢献したい」と
いう想いを形にするため
に、地域や人とのつながり
を大切にしたい。また、こ
うした取り組みへの参画
で、お寺をもっと知ってほ
しいです。

企業の社会貢献

第一生命保険長野支社 難波哲人さん
日本たばこ産業（ＪＴ）長野支店 戸川浩司さん

■コロナ禍でできる活動

新型コロナウイルスの
影響で、営業活動ができ
なくなった社員と何か地
域貢献で



難波さん

きないか
と考え新
聞紙バッ
クを作る

■企業と社会貢献活動の

橋渡しに

地域に何かしたいけど
何をすればいいのかわか

ボランティア活動を始
めました。これまでに
500枚以上つくり、子
ども食堂や復興支援活動
に寄付をしています。



戸川さん

らないという企業に声を
かけ、まんまと一緒に
考える場をＪＴが主催し
ました。自分たちが活動
することはもちろん、つ
ながりづくりが大切。企
業が社会貢献をする橋渡
しもしていきたいと考え
ています。

作ったものが役に立つ嬉しさ

長野工業高校 長光プロジェクト

3年 松井悠起さん



松井さん

■得意を活かした活動

長光プロジェクトは、長野工業高校
機械工学科有志が6
年前に立ち上げた団
体です。これまで車
のオイル缶を加工し
た燻製機を販売、台
風19号災害支援のた
め寄付しました。コ
ロナ禍で介護の現場
で不足していた防護
服を、農業用マルチ
シートを使って約
200枚作り長野
県社会福祉協議会
に寄付したり、県
警や他校とも協働

■寄付を通じて

地域のために一歩
を踏み出すことがで
きていると感じてい
ます。作業を楽しみ
ながら、自分たちの
つくったものが人の
役にたつのは嬉しい
励みになります。

して交通事故防止用
反射材を6千個作り、
NPO法人に寄付し
たりと、社会貢献活
動をしてきました。
メンバーは3年生
ですが、その精
神は後輩に引き継が
れています。

「寄付の可能性」

後半は、「寄付がもっと身近に
なるには」をテーマに、意見交
換しました。ネット決済のほか、
街頭やレジ横募金など多様な形
を寄付者に提案すること、寄付
と自分との関わりをわかりやす
く見せることなど工夫が必要と
の意見が交わされました。中
でも、「実体験を含めて寄付に関
する教育も大切」という意見に共
感した参加者も多く、寄付をさ
まざまな角度から考え取り組む
ことで、さらに寄付の可能性が

広がっていくと感じました。

余った野菜を近所に分ける、
席を譲る…形はちがえど昔から
あったお互いの気持ちそのも
のが寄付

ではない
かという
意見も多
く、寄付
を根元か
ら考える
きっかけ
にもなり
ました。



こんな寄付も
あります！

ヘアドネーション

長野市新田町の美容室ヘアメイクレアは、約10年前からNPO法人Japan Hair Donation&Charity（大阪府）を通じて「ヘアドネーション」に取り組んでいます。病気やけがなどで髪の毛を失ってしまった子どもたちに無償の医療用ウィッグを届けるため、髪の毛を寄付する取り組みです。

同店では、これまで延べ300人以上のドネーション用ウィッグを手がけてきました。ウィッグを作るには31センチ以上の長さが必要で、伸ばすのに要する期間は最短でも約2年半。店長の高橋菜さんは、「伸ばし続けてきた人の思いを大切にしたい。ヘアドネーションのためのカットは思いをつなぐセレモニー」と話しま



す。そのため、最初のハサミを提供者本人に入れてもらったり、カットの様子を写真に収めたり、思い出に残すことを心がけています。高橋さんは、今後もうこうした取り組みが広がることを願う一方で、「本当に大切なのは人としての内面。外見に対する偏見がなくなり、最終的にはウィッグを必要としない社会になることが理想」と語りました。

※お店の情報はP8に。

献 血

献血された血液は、病気やケガの治療、手術などでの輸血を必要としている人のために使われます。私たちの健康な血液をちよつとした時間で社会貢献ができます。16歳から始められる身近で活用方法が明確な寄付（ボランティア）のひとつです。

寄付付き ドライカレー弁当

三本柳で子どもの居場所を運営するNPO法人にっこりひろばは、寄付付き商品としてドライカレーの販売を始めました。1個600円で子ども一人の半日分の居場所を提供することができます。お弁当を食べるだけであたたか援助になれます。NPO法人にっこりひろば 長野市三本柳2-74

メール
nikkorihoba@gmail.com



チョコ募金

毎年冬限定でチョコ募金キャンペーンを実施。寄付金は福島の子どもたちを放射線から守る活動などに充てられます。寄付のお礼に贈られ

長野献血ルーム
TOIGO WEST 2階
Tel 0120-110-6979

寄付付き反射材

交通事故防止用の反射材です。1個250円で売上は、認定NPO法人長野犯罪被害者支援センターを通じて、交通事故を含めた犯罪被害者の支援活動に使われます。認定NPO法人 長野犯罪被害者支援センター



チョコ入りのイラスト缶

る、イラクの子どもたちが描くイラスト缶も人気です。4缶入り2200円（送料別）。
NPO法人JIM-NET
（日本イラク医療支援ネットワーク）
新宿区高田馬場4-4-11
内藤ビル2C
Tel 03-6228-0746

使途選択募金

長野県共同募金会を通じて、地域や社会の課題解決に取り組む団体を選んで募金ができます。今年は、地域課題解決をめざす学生団体ユースリーチと、障がい者支援に取りくむNPO法人麦つ子広場のいずれか選べます。募金受付期間は1月1日～3月31日。振り込みや街頭募金などで募金ができます。

長野県共同募金会
長野市西長野143-8
Tel 026-234-6813



長野市大字南長野南県町
685-2
Tel 026-233-7848

紹介した寄付は、形もきつかけも思いもさまざまでしたが、共通するのは明るい未来を目指しているということ。思い描く未来のために、共感できる寄付先を見つけれたら、ワクワクしてきませんか？



SDGs まんまる

「外国籍市民の実態と 共生について考える」



外国籍市民共生に向けての意見交換

人権月間の11月13日、「人権」をテーマにSDGsまんまるを開催。学生から市議会議員など年齢も性別もさまざまな13人が集まりました。前半は長野県内の在留外国人についての現状を、長野県多文化共生相談センター長春原直美さんから聞きました。

春原さんは、在留外国人が抱えている問題を紹介します。第二に言葉の問題から情報弱者になりがちであることをあげ、「同センターはワンストップを目指しているが、まだまだ周知は進んでいないので、まずはセンターの存在を知ってほしい」と話しました。

また言葉以外にも壁があり、その一つは「心の壁」。日本人は「顔は笑って心は凍っている」と言わ

れ、考えていることがわかりづらく近づきたい存在となっているそうです。

後半の交流会では「完璧な英語よりも、『やさしい日本語』を使う」など、すぐにできることがあり、ちよつとした心がけで外国人との共生ができると話し合いました。

長野県多文化共生相談センター
Tel 026-219-3068



自己紹介で盛り上がる参加者

ファシリテーション講座 「ワクワクする話し合いの場をつくらう」

11月28日、さまざまな話し合いの場で必要なファシリテーションを学ぶ講座を、日本ファシリテーション協会フェローの鈴木まり子さんを講師に迎えて開催。高校生から大人まで、リアル・オンライン併せて28人が受講しました。

午前は主にファシリテーションの基本知識について。「話し合いのゴールの設定」の大切さやしやすい机の配置などの「場のデザイン」、時間の流れの作り方など、主に事前の準備について学びました。

午後は、会議の運営方法を参加者として体験しつつ学びました。「雰囲気づくりやグループ人数の構成、質問のしかたで話し合いの活性化ができる」と鈴木さん。また、「困った参加者というのはあくまでファシリテ

ターの主観によるもの、対応一つで場の雰囲気や流れは変わる」とのこと。後半はさらに踏み込んで会議の内容の可視化の方法や、時間管理の大切さについても学びました。

参加者からは、「ゴール設定の大切さがわかった」「準備が大切と感じた」「ぜひ現場でやってみたい」との声が聞かれ、鈴木さんからは「成功か失敗かはすぐにわからない。失敗しても落ち込まないように。どんどん場数を踏みましょ」とアドバイスがありました。



講師の鈴木さんは終始笑顔です

#19

My
ストーリー

一般社団法人信州子育てみらいネット

代表理事 山岸 裕始さん

開業から僅か6年、保育園8か所、女性の起業支援、学生の学び支援など多方面に事業展開する山岸さん。小布施町の農家の後継ぎに生まれましたが、一国一城の主を目指し26歳で飲食店を起業します。経営は順調でしたが「商売はお金がすべて?何かが違う、満たされない。もっと人に認められる仕事を」と感じていました。

そんな時、地域活動やまちづくりなど、人のために働く人の姿に感動。非営利の世界に惹かれます。あるきっかけから30歳で小布施町町議会議員になり2期8年務める中で、持続可能な社会には若い人の力が不可欠、長野に移り住んで子どもを育てようと思う町にしなければ次世代につながらないと強く感じました。

そのために開くイベントはどれも一過性で終わってしまいます。ビジネスでないと継続性がないと気づき、ビジネスプランコンテストでアイデアを募ったところ、ある農家から有



機野菜を使った保育施設の再生事業が提案され「そうだ!都会の人も移り住むようなまちづくりを保育園から始めよう!」と思い立ちます。待機児童問題解消にむけて国が対策に動いたこともあり、事業の拡大につながってきました。

山岸少年はやんちゃでしたがアニメの影響でクールに憧れ、寡黙な中学生に変身しました。若いころを振り返ると「もっと学んでおけばよかったと後悔する。これからも学びを追求したい。いつか大学院に入って、日本の将来を考えている人たちのネットワークを作りたい。その先に・・・」。

夢を語り、次々と実現させてしまふのが山岸さんらしいところです。

団体情報 一般社団法人信州子育てみらいネット
〒381-0083 長野市西三才 2280-1
TEL 026-262-1572
URL <https://chiikihoiku.net>

プロフィール

長野市在住 41歳
散歩と読書にはまっています

旬 NPO紹介

まんまるの!

NPO法人若槻・あじさいの湯



「館内の装いも新たにになりました」と西澤さん

若槻・あじさいの湯
長野市田中1457-2 TEL026-295-2828

2021年10月1日「若槻・あじさいの湯」がオープンしました。「若槻老人憩いの家」が廃止されたあと、地元住民らの熱意を受けてNPOとして新たなスタートです。利用対象年齢は問わず、営業時間の延長、祝祭日の営業など、利用しやすくなりました。さらに「通所型基準緩和サービス」業務も開始予定です。代表の西澤哲さんは「草刈り、ふすまや障子の張替えなど、住民がボランティアを買って出てくれています。若槻、浅川、吉田地区など地域の後押しが、私たちのモチベーションです」と話します。地元三登山の湧き水を沸かすお湯は「体の温まりかたが違う」と評判です。是非一度お出かけください。

お買い物から考える人権 ～目の前にあるものの 向こう側～ 中条中学校

活と児童労働は無関係ではないと知り、何ができるかを考えました。そこで注目したのが、日常生活に欠かせない「買い物」。品物を選ぶ際に、「フェアトレード商品を選ぶ」「地元で作られたものを消費する」といった「エシカル消費」という視点を取り入れることで、人権を守ることにつながることを確認しました。

参加した保護者は、「買い物と人権がつながり、これであれば自分も実践できると思うことが具体的にあってよかった」と話しました。

11月16日、当センター職員が講師を務めた講演会が中条中学校で開催され、生徒と保護者、教員約50人が参加しました。

講演は、保護者の中でも関心が高いSDGsを切り口に進み、SDGsが生まれた背景や世界の課題を、グループになってクイズ形式で考えました。日本人が1年間で廃棄している歯ブラシの総重量に関する問題が出題されると、多くの人が自分たちの出すプラスチックの量に驚いていました。



大人も身を乗り出してクイズの答えを議論する



竹は地域のたからもの まちむら交流会 in 七二会

延期を重ねてきたまちむら交流会でしたが、11月20日4家族限定に定員を絞って無事開催。合計8人の子どもが参加しました。

まずは長野美術専門学校の学生が作成した紙芝居を、まんまるスタッフ3人が張り切って上演。機関誌まんまる2021年秋号の記事にある通り、この紙芝居は七二会のお宝を紹介しています。紙芝居の後、お宝の福寿草やソルガム、大平風穴などを七二会いいとこ発見委員会の皆さんより詳しく教えてもらいました。(紙芝居はYouTubeチャンネルで視聴可能)

次に講師の丸山政義さん指導



みんなで協力してつくった水鉄砲

紙芝居視聴動画は
こちらから▶



で地域の宝物のひとつ「竹」を使った水鉄砲を制作。のこぎりやキリを使い緊張気味の子どもたちでしたが、家族で協力し合って作り、さっそく的に当てて楽しみました。

参加者はいずれも七二会地区は初めてという家族でしたが、「市街地から近いのに、こんなに自然と触れ合えるなんて!」と喜んでいました。これをきっかけに、七二会を訪れる機会が増えればうれしいですね。

◆まちむら交流会とは…◆
食・農・山村体験を通じた「まち」と「むら」の交流から互いの理解を深め、相互支援につなげる交流会。



市民協働サポートセンター

スケジュール 2022年

1月▶ 3月



タイトル	日時	会場 / 費用	内容
NPOステップアップ講座 「事業企画をつくろう！」 	1月28日(金) 18:00~20:30	もんぜんぶら座304会議室 参加費:500円 定員:10人 対象:ボランティア・市民活動 団体・住民自治協議会など非 営利の活動をしている人	来年度に向けて、新たな事業を始めたい、既存の事業の見直しをしたい団体の皆さん!! 講師や受講者と一緒に事業企画を作りませんか? 「何のために?」「誰のために?」「誰と一緒に?」など企画の極意を学びます。団体メンバーと一緒に参加がおすすめです!!
地域まんまる 「草刈りどうしてる? (仮)」 	2月10日(木) 13:30~16:30	長野市ふれあい福祉センター 4階会議室 参加費:無料 定員:30人 対象:誰でも	地域の共有地や道路の草刈りは、これまで住民参加でやってきました。しかし、特に中山間地などでは高齢化で担い手が減るなど厳しい状況になっています。地域がやるのか行政がやるのかの二択ではないアイデアを出し合い、解決への道を探ります。
初歩講座 「NPOってなんだ?」	2月19日(土) 10:30~12:30	市民協働サポートセンター 参加費:300円 定員:5人	「何かしてみたいな」と考えている人、ボランティアとは? NPOってなに?という人など、まずこの講座から始めましょう。市民活動やNPOの言葉の意味から市内の市民活動紹介も。
NPOステップアップ講座 「NPO会計のいろは」 会計事務処理相談会 	3月19日(土) 13:30~16:00	もんぜんぶら座303会議室 参加費:300円 定員:5団体 対象:NPO・非営利団体	NPO 団体にとって、会計事務処理は悩ましい作業。3月は期末を迎える団体も多いのではないのでしょうか。助成金の会計処理、決算などあらゆる会計処理について、専門の税理士が1団体30分限定で個別相談に応じます。完全予約制。
まるボランティアサロン ①ボランティアさん集まれ! ②機関誌発送サロン	①毎月第4火曜日 11:00~14:00 ②3月下旬 10:00~14:00	市民協働サポートセンター 参加費:無料 対象:誰でも	まんまる開催のボランティアサロンです。 ①封筒や紙バックを、カレンダーや新聞紙で作ります。ボランティアに興味のある方、ぜひどうぞ! ②3ヶ月に1回発行するセンターの機関誌を発送する作業です。封筒にラベルを貼ったり、機関誌を封筒に入れたり。ちょっとボランティア、していきませんか?

新型コロナウイルスの影響で、開催方法などが変更になる可能性があります。ホームページやフェイスブックでも随時情報発信しています。あわせてご確認ください。

まんまるの紹介動画ができました!!
まだ来たことがない方、
ぜひご覧ください。

チェックしてみてください!

まんまるに行ってみよう!



YouTube

チャンネル登録も
よろしくお願いします。

はココに!

ヘアメイクフレア

長野市新田町にある「ヘアメイクフレア」は「癒し」をテーマにした美容室です。一人ひとりの「これからどうしたいか?どうなるのが理想か?」を一緒に考えて歩いていくことを大切にしています。また、「車の運転が難しくなった」「足が痛くて歩くのが辛くなった」などの声から生まれたのが「お迎え美容」。送迎や訪問美容で、誰もがサロンのサービス・施術を受けられます。髪や美容に関する相談はもちろん、癒しを求めて利用してみたいはかがでしょうか?
〒380-0835長野市新田町1144-4 ラトール新田1F TEL:026-224-3502
(定休日:火・水曜日)

癒しの空間で高橋店長とスタッフが
お待ちしております

発行 / 市民協働サポートセンター まんまる (長野市)

TEL:026-223-0051 FAX:026-223-0052

〒380-0835 長野市新田町 1485-1 もんぜんぶら座 3F

e-mail: npo@nagano-shimin.net

ホームページ: https://nagano-shimin.net/



編集後記

冬号では「寄付」を特集しました。日本では寄付がなかなか浸透しないといわれていますが、寄付の先にあるのは「自分がかねえたい社会の姿」なんだと思います。寄付を通じて、今まで気づけなかった自分の思いに向き合えたら素敵ですね! (M)

